

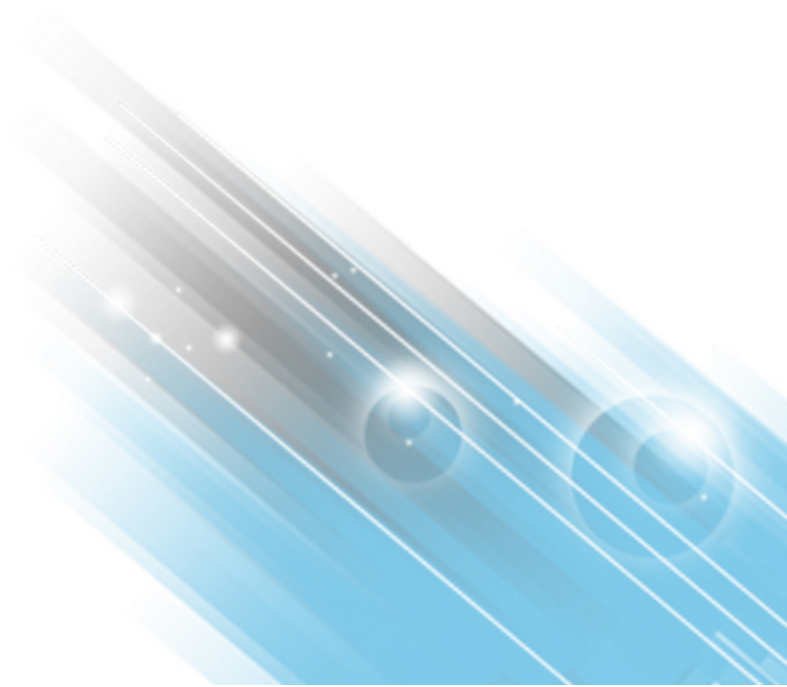


# HP Virtualization Performance Viewer

ソフトウェアバージョン :2.20  
Linuxオペレーティングシステム

仮想アプライアンスのスタートアップガイド (PDF)

ドキュメントリリース日: 2015年6月  
ソフトウェアリリース日: 2015年6月



## ご注意

## 保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

## 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

## 著作権について

© Copyright 2014-2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

## 商標について

Adobe® はAdobe Systems Incorporatedの商標です。

Microsoft® およびWindows® は、米国におけるマイクロソフト企業グループの登録商標です。

Javaは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

## 謝辞

本製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) (英語サイト) により開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>) (英語サイト) で使用する、OpenSSL Projectにより開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) が作成した暗号化ソフトウェアが含まれています。

本製品には、Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) が作成したソフトウェアが含まれています。

本製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) (英語サイト) により開発されたソフトウェアが含まれています。

## ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行うことができます。<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

または、HP Passportのログインページの [New users - please register] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細については、HPの営業担当にお問い合わせください。

# サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。<http://support.openview.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、以下のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

[http://support.openview.hp.com/access\\_level.jsp](http://support.openview.hp.com/access_level.jsp)

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このWebサイトのURLは、<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

# 目次

第1章: はじめに .....	5
第2章: HP vPVのインストール .....	6
前提条件 .....	6
HP vPV仮想アプライアンスのデプロイ .....	7
HP vPVの以前のバージョンからのHP vPV 2.20へのアップグレード .....	8
仮想アプライアンスを使用したHP vPVのアップグレード .....	9
アップグレードの検証 .....	11
第3章: HP vPVインターフェイスへのアクセス .....	12
データソースの追加 .....	13
第4章: ライセンス管理 .....	14
ユーザーインターフェイス .....	14
ライセンスのタイプ .....	15
ライセンスのインポート .....	19
第5章: トラブルシューティング .....	21
第6章: HP vPVコミュニティ .....	27
ドキュメントに関するフィードバックの送信 .....	28

# 第1章: はじめに

HP Virtualization Performance Viewer (HP vPV) は、仮想化環境の要素のパフォーマンス傾向を分析するWebベースの分析視覚化ツールです。このツールは、環境の概要、ほぼリアルタイムのデータ分析、履歴データ分析を提供し、インタラクティブなダッシュボードの使用による優先順位付けを行うことで、仮想化環境の監視を可能にします。また、クラウドおよびハイパーバイザー環境での監視も可能にします。HP vPVによって、要素のパフォーマンスデータが相互のコンテキストにおいて可視化され、迅速にボトルネックを分析できるようになります。HP vPVはパフォーマンス監視、グラフ生成、レポート機能を単一のインターフェイスで提供します。HP vPVを使用すると、次の操作が可能です。

## パフォーマンス監視

- **ダッシュボード**は、他のHP vPVビューに迅速かつ容易に移動する手段を提供します。
- **ツリーマップ**は、環境のヘルスに関するグラフを表示します。問題をわかりやすく特定および表示することができます。ツリーマップでは、データセンター、ホスト、またはVMなどのエンティティを迅速に分析します。
- **ワークベンチ**は、監視されているリソースのパフォーマンスを視覚化し、順位決定します。過去の特定の期間にわたり発生した問題のトラブルシューティングを実行できます。使用可能なメトリックを活用して、グラフを作成および表示できます。さらに、頻繁に使用するグラフをお気に入りとして保存できます。
- **アラート**は、仮想化環境で生成された問題を特定してトラブルシューティングを実行するのに役立ちます。
- **リアルタイムゲストドリルダウン**は、環境内のオーバーロードを検出します。ドリルダウンしてVMでのパフォーマンスのオーバーロード問題を判別できます。

## 容量の分析と最適化

- **容量の概要**は、環境内のリソースの適切な推奨サイズを提示します。
- **配置**は、使用可能および再利用可能な容量に基づく新しいVMの追加に関するヒントを提供します。
- **予測**は、さまざまなリソースの事前定義された期間にわたる将来の容量使用率レベルを予想します。予測機能を使用すると、最大容量までの日数の情報を判断して、最適な割り当てと配置を行うことができます。
- **モデラー**は、環境にリソースを追加または環境からリソースを削除することの影響を判断するのに役立ちます。将来の容量使用率を見積もり、ハードウェア要件を事前に計画することが可能です。

## 第2章: HP vPVのインストール

HP vPVを仮想アプライアンスとして使用することで、VMware vCenterで簡単にデプロイできます。VMware vSphere Clientユーザーインターフェイスを使用して、HP vPV仮想アプライアンスをデプロイできます。

HP vPV仮想アプライアンスは、次のサイトからダウンロードできます。<http://www.hp.com/go/vpv> HP vPV仮想アプライアンスは、VMware vSphere Clientの**OVFテンプレートのデプロイ機能**を使用してインストールできます。仮想アプライアンスにログオンするためのユーザー名は**root**、パスワードは**vperf\*viewer**です。詳細については、VMwareのマニュアルを参照してください。

### 前提条件

HP vPVでは、ファイアウォールで次のポートが開いている必要があります。

ポート	プロトコル	説明
8081	HTTP	HP vPVがインストールされているシステムにファイアウォールが存在する場合に、HP vPVにリモートブラウザからアクセスできるようにするためのポート。
8444	HTTPS	HP vPVにHypertext Transfer Protocol Secure (HTTPS) モードでアクセスするためのポート。
5480、5488、5489	HTTPS	VAMI (Virtual Appliance Management Interface) にアクセスするためのポート。
383	HTTPS	HP vPVの内部通信プロセスのためのポート。
5433	HTTPS	HP vPVのデータベース要件 (HP Vertica) のためのポート。
443	HTTPS	VMware vSphereターゲットからのデータ収集のためのポート。
5671	HTTPS	HP OneViewターゲットからのデータ収集のためのポート。
135	TCP	Hyper-Vターゲットからのデータ収集のためのポート。Windows プロキシシステムとHyper-Vホスト間のポートは、Hyper-Vホスト上で開かれている必要があります。

ポート	プロトコル	説明
8100	HTTPS	SCVMMターゲットからのデータ収集のためのポート。Windows プロキシシステムとSCVMMホスト間のポートは、SCVMMホスト上で開かれている必要があります。
22	SSH	KVMおよびXenターゲットからのデータ収集のためのポート。
35357 (管理)、8774 (Nova)	HTTPS	OpenStackターゲットからのデータ収集のためのポート。

## HP vPV仮想アプライアンスのデプロイ

HP vPVを仮想アプライアンスとして使用することで、vCenterで簡単にデプロイできます。VMware vSphere Clientユーザーインターフェイスを使用して、仮想アプライアンスをデプロイできます。

VMware vCenter Serverのバージョン5.0、5.1、5.5および6.0をサポートしています。

HP vPV仮想アプライアンスをデプロイするには、次の手順を実行します。

1. VMware vSphere Clientを開きます。
2. 資格情報を入力し、**[ログイン]**をクリックします。
3. **[ファイル]** > **[OVFテンプレートのデプロイ]**の順に選択します。**[OVFテンプレートのデプロイ]**ウィンドウが開きます。
4. **[参照]**をクリックして、HP vPV仮想アプライアンスファイルを保存している場所を参照します。
5. **[次へ]**をクリックします。ウィンドウに、仮想アプライアンスの詳細が表示されます。
6. **[次へ]**をクリックします。エンドユーザーライセンス契約の詳細が表示されます。
7. **[同意]**をクリックし、**[次へ]**をクリックします。
8. **[名前]**フィールドに仮想アプライアンスの名前を入力します。
9. **[インベントリの場所]** ツリーから仮想アプライアンスのデプロイ先を選択します。**[次へ]**をクリックします。
10. 仮想アプライアンスを実行する場所としてホストまたはクラスターを選択します。**[次へ]**をクリックします。
11. 仮想アプライアンスを実行する場所として特定のホストを選択します。**[次へ]**をクリックします。
12. 仮想マシンファイルの保管先のストレージ場所を選択します。**[次へ]**をクリックします。
13. 仮想ディスクを保管するためのディスク形式を選択します。**[次へ]**をクリックします。
14. 必要なネットワークプロパティを入力して、**[次へ]**をクリックします。ウィンドウに、デプロイメントの詳細が表示されます。

15. [デプロイ後にパワーオン] チェックボックスを選択します。
16. [完了] をクリックします。デプロイメントタスクが開始します。デプロイ後、仮想アプライアンス名がVMware vSphere Clientユーザーインターフェイスのツリーに表示されます。

**注:** 詳細については、VMwareのマニュアルを参照してください。VMwareによっては、手順が変更される場合があります。

### 仮想アプライアンスへのログイン

ユーザー名`root`を使用して、HP vPV仮想アプライアンスにログインできます。デフォルトのパスワードは`vperf*viewer`です。このパスワードは、ログイン後に変更することを推奨します。

HP vPV仮想アプライアンスのデプロイとHP vPVの使用を開始する方法についての[ショートビデオ](#)をここで視聴できます。

## HP vPVの以前のバージョンからのHP vPV 2.20へのアップグレード

HP vPVはバージョン2.01および2.10からのみ2.20にアップグレードできます。次の表に、サポートされるアップグレードシナリオを示します。

アップグレードシナリオ	手順
HP vPVをバージョン2.10からバージョン2.20にアップグレードする	次の方法でHP vPV 2.20にアップグレードできます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">仮想アプライアンスを使用したHP vPVのアップグレード</a></li> </ul>
HP vPVをバージョン2.01からバージョン2.20にアップグレードする	次の方法でHP vPV 2.20にアップグレードできます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">仮想アプライアンスを使用したHP vPVのアップグレード</a></li> </ul>

**注:**HP vPVは、バージョン2.01および2.10からのみ2.20にアップグレードできます。HP vPVのアップグレードにはかなりの時間がかかります。HP vPVをバージョン1.00、1.10、1.20、または2.00からバージョン2.20に直接アップグレードすることはできません。また、ロールバックをサポートしていないため、2.20にアップグレードする前にHP vPV 2.01または2.10マシンのスナップショットを取得していることを確認してください。




## 仮想アプライアンスを使用したHP vPVのアップグレード

すでにHP vPVの以前のバージョンが仮想アプライアンス上にデプロイされている場合に2.20にアップグレードする場合は、次の2つの操作を使用できます。

- 「**CDROMの更新の使用 (.isoの使用)**」
- 「**指定したリポジトリの使用 (.zipの使用)**」

### CDROMの更新の使用 (.isoの使用)

1. VMware vSphere Clientにログオンします。
2. 左ペインで、アップグレード対象のHP vPVマシンを選択します。
3. **[仮想マシンのCD/DVDデバイスを接続/ 取り外す]**  アイコンをクリックします。**[CD/DVDドライブ1]**を選択します。
4. **[ローカルディスクのISOイメージに接続]** をクリックします。Windows Explorerが表示されます。
5. HPPV\_VA\_2.20.xxx\_UPDATE.isoファイルを選択します。**[開く]** をクリックします。
6. HP vPVインターフェイスで、**[設定]** アイコンをクリックします。
7. **[vPV仮想アプライアンス管理の起動]** リンクを使用して、HP vPV Virtual Appliance Management Webインターフェイスを起動します。
8. ユーザー名rootを使用して、HP vPV仮想アプライアンスにログインします。デフォルトのパスワードはvperf\*viewerです。
9. **[更新]** タブをクリックします。**[更新ステータス]** ページが表示されます。
10. **[設定]** をクリックします。**[設定の更新]** ページが表示されます。
11. **[リポジトリの更新]** セクションで、**[CDROMの更新を使用する]** を選択します。
12. **[ステータス]** をクリックします。**[更新ステータス]** ページが表示されます。
13. **[更新の確認]** をクリックします。利用可能な更新が表示されます。
14. 更新を選択して**[更新のインストール]** をクリックします。アップグレードプロセスが始まります。
15. アップグレードプロセスが完了すると、「HP vPV 2.20のアップグレードが正常に完了しました」メッセージが表示されます。
16. バージョン2.20がインストールされているHP vPVマシンにログオンします。
17. コマンドプロンプトに移動して、次のコマンドを実行してHP vPVマシン上のVMwareで使用されるOpenSSLソフトウェアを更新します。


```
yes | cp -f /usr/lib64/libssl.so.1.0.1e /opt/vmware/lib/libssl.so.0.9.8
```

```
yes | cp -f /usr/lib64/libssl.so.1.0.1e /opt/vmware/lib/libssl.so.0.9.8r
```

```
yes | cp -f /usr/lib64/libcrypto.so.1.0.1e /opt/vmware/lib/libcrypto.so.0.9.8
yes | cp -f /usr/lib64/libcrypto.so.1.0.1e /opt/vmware/lib/libcrypto.so.0.9.8r
/etc/init.d/vami-sfcb restart
/etc/init.d/vami-lighttpd restart
```

最新の更新でOpenSSLソフトウェアが更新されます。

### 指定したリポジトリの使用 (.zipの使用)

1. サーバー (WebまたはFTP) の場所にあるWebフォルダーのHPPV\_VA\_2.20.xxx\_UPDATE.zipをダウンロードして解凍します。
2. HP vPVインターフェイスで、[設定]  アイコンをクリックします。
3. [vPV仮想アプライアンス管理の起動] リンクを使用して、HP vPV Virtual Appliance Management Webインターフェイスを起動します。
4. ユーザー名rootを使用して、HP vPV仮想アプライアンスにログインします。デフォルトのパスワードはvperf\*viewerです。
5. [更新] タブをクリックします。[更新ステータス] ページが表示されます。
6. [設定] をクリックします。[設定の更新] ページが表示されます。
7. [リポジトリの更新] セクションで、[指定したリポジトリを使用する] を選択します。
8. [リポジトリのURL] ボックスに、更新ファイルを解凍したサーバー (WebまたはFTP) の場所を入力します。
9. [ユーザー名] および[パスワード] ボックスで、ユーザー名とパスワードがある場合はそれらを入力します。
10. [設定の保存] をクリックします。
11. [ステータス] をクリックします。[更新ステータス] ページが表示されます。
12. [更新の確認] をクリックします。利用可能な更新が表示されます。
13. 更新を選択して[更新のインストール] をクリックします。アップグレードプロセスが始まります。
14. アップグレードプロセスが完了すると、「HP vPV 2.20のアップグレードが正常に完了しました」メッセージが表示されます。
15. バージョン2.20がインストールされているHP vPVマシンにログオンします。
16. コマンドプロンプトに移動して、次のコマンドを実行してHP vPVマシン上のVMwareで使用されるOpenSSLソフトウェアを更新します。

```
yes | cp -f /usr/lib64/libssl.so.1.0.1e /opt/vmware/lib/libssl.so.0.9.8
yes | cp -f /usr/lib64/libssl.so.1.0.1e /opt/vmware/lib/libssl.so.0.9.8r
yes | cp -f /usr/lib64/libcrypto.so.1.0.1e /opt/vmware/lib/libcrypto.so.0.9.8
yes | cp -f /usr/lib64/libcrypto.so.1.0.1e /opt/vmware/lib/libcrypto.so.0.9.8r
```

```
/etc/init.d/vami-sfcb restart
```

```
/etc/init.d/vami-lighttp restart
```

最新の更新でOpenSSLソフトウェアが更新されます。

**注:**旧バージョンのHP vPVを最新バージョンにアップグレードする際にVAMI Webサーバーの設定が変更されます。元の設定は変更前にバックアップされます。VAMIの設定を元に戻すには、次の手順を実行します。

1. ルートとしてHP vPV仮想アプライアンスにログオンします。
2. 次のコマンドを実行します。

```
cp /opt/vmware/etc/lighttpd/lighttpd.conf.vPV cp /opt/vmware/etc/lighttpd/lighttpd.conf  
/etc/init.d/vami-lighttp restart
```

## アップグレードの検証

次のいずれかを実行して、HP vPVバージョン2.20へのアップグレードを検証できます。

- HP vPVインターフェイスで、[ヘルプ]アイコンに移動して、[HP vPVについて]をクリックします。バージョン情報が記載されたダイアログボックスが表示されます。
- コマンドプロンプトで次のコマンドを実行してバージョンを確認します。

```
pv version
```

**注:** アップグレード後、次のコマンドを使用してHP vPVプロセスのステータスを確認することを推奨します。

```
/opt/OV/bin/ovc
```

実行していないプロセスがある場合、次のコマンドを使用してそのプロセスを再起動します。

```
pv restart
```

# 第3章: HP vPV インターフェイスへのアクセス

HP vPVのインストールに成功したら、次のいずれかのURLを使用してHP vPVインターフェイスにアクセスします。

**https://<システム名>:<ポート番号>/PV**

この例では、

<システム名>はHP vPVサーバーのIPアドレスまたはホスト名です。

<ポート番号>はHP vPVが設定されているポート番号です。デフォルトのポート番号は8444です。

**PV**は大文字と小文字が区別されます。

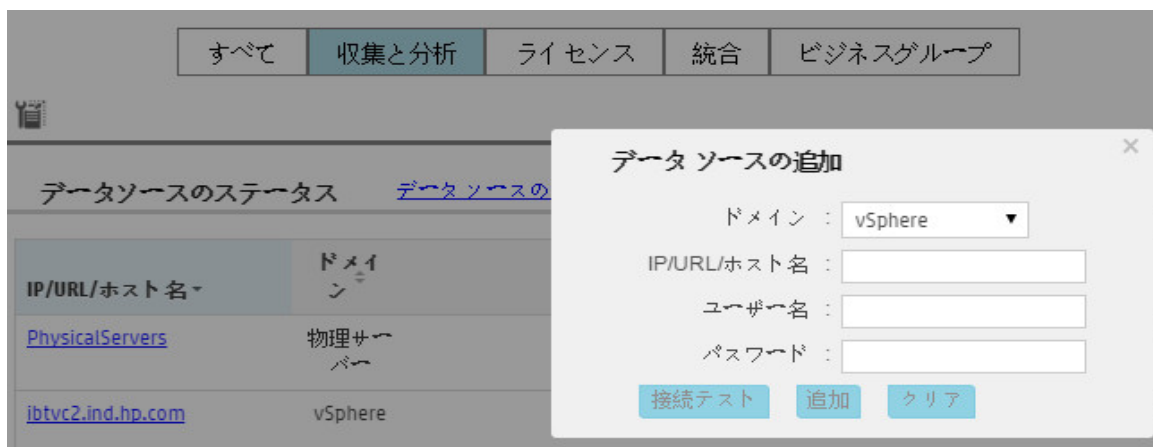
**注:** HTTPプロトコル (**http://<システム名>:<ポート番号>/PV**) を使用してHP vPVにアクセスする場合、自動的にセキュリティ保護されたHP vPV URL (**https://<システム名>:<ポート番号>/PV**) にリダイレクトされます。

HP vPVインターフェイスは次のように表示されます。




## データソースの追加

HP vPVのデータソースを追加する場合、[設定] > [収集と分析] に移動します。HP vPVで監視する必要のあるデータソースの詳細を指定します。



HP vPVでは、次のデータソースをサポートします。

- VMware vCenter
- OneView
- Microsoft SCVMM
- Hyper-V
- KVM
- Xen
- 物理サーバー
- OpenStack
- AWS

データソースの追加の詳細については、[設定] ページから [収集と分析] を開いて  [ヘルプ] をクリックするか「Virtualization Performance Viewerオンラインヘルプ」を参照してください。これにより、[収集と分析] のコンテキスト依存ヘルプが開きます。

## 第4章: ライセンス管理

HP vPVのインストール後、ビジネス上の要件に基づく適切なライセンスの購入が可能です。これらのライセンスによって、製品のすべての機能にアクセスできるようになります。各ライセンスを購入するには、**[評価版/コミュニティライセンスを使用しています。ライセンスを購入するにはクリックしてください。]**をクリックします。このリンクから**[ライセンスの購入]**ページに移動できます。**[ご連絡ください]**タブに詳細を入力して、**[送信]**をクリックします。電子メールクライアントがブラウザで設定されていることを確認します。

HP vPVユーザーインターフェイスで**[ライセンス]**オプションにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. HP vPVのユーザーインターフェイスにログオンします。
2. **[設定]**アイコンをクリックします。  
[設定] ページが表示されます。
3. [設定] ページで、**[ライセンス]**オプションをクリックします。  
[ライセンス] ページが表示されます。

[ライセンス] ページには、HP vPVのライセンスに関する情報が表示されます。また、このタブを使用して、評価ライセンスの使用を開始したり、HP vPVのライセンスをインポートしたりできます。ライセンスのインポートの詳細については、**「ライセンスのインポート」**を参照してください。

**注:** コミュニティライセンスを使用するHP vPVサーバーにエクスプレスライセンスをインストールすると、エクスプレスライセンスがコミュニティライセンスをオーバーライドします。

コミュニティライセンスを保持する場合は、別個のHP vPVサーバーを作成してコミュニティライセンスをインストールします。

ライセンス間の違いおよび利用可能な機能の詳細については、**「ライセンスのタイプ」**を参照してください。

## ユーザーインターフェイス

次の表に、[ライセンス]オプションの各セクションを示します。

セクション	説明
ライセンスステータス	[ライセンスステータス]セクションには、HP vPVの現在のライセンスに関する次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• アクティブなライセンスによって提供されるOSインスタンスの最大数</li><li>• アクティブなライセンスによって現在監視されているOSインスタンスの数</li></ul>

セクション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ保有期間</li> <li>サーバーインスタンスライセンスを有効にしている場合、合計のサーバーインスタンス容量、現在のサーバーインスタンス容量、サーバーライセンスで対応されるOSインスタンスを表示できます。</li> <li>ライセンスアラートのしきい値</li> </ul>
インストール済みライセンス一覧	<p>[インストール済みライセンス一覧] セクションには、HP vPVのアクティブなライセンスおよびインストールされているすべてのライセンスに関する次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インストールされているライセンスのタイプ</li> <li>ライセンスが期限切れになる日付</li> </ul>

**注:** OSインスタンスの数は、VMとホストの数のみを示します。

## ライセンスのタイプ

HP vPVは、コミュニティ、エクスプレス、プレミアム、評価版、監視専用、およびサーバーインスタンスライセンスを提供します。

**注:** コミュニティライセンスで監視できるOSインスタンスの最大数は25です。OSインスタンスの数は、VMとホストの数のみを示します。HP vPVでは、エクスプレス、プレミアム、評価版ライセンスを使用して最大6000のOSインスタンスを監視することを推奨します。ただし、より大規模な構成をサポート可能です。詳細については、『HP vPV Sizing Guide』を参照してください。監視専用ライセンスでサポートされるOSインスタンス数に制限はありません。

次の表に、HP vPVの各ライセンスで利用可能な機能を示します。

機能	コミュニティライセンス	エクスプレスライセンス	プレミアムライセンス	評価ライセンス	ライセンスの監視	サーバーライセンス
データ保有期間	最大24時間	90日間	90日間	60日間	8日間	90日間
ライセンス付与期間	永久	永久/期限付き	永久/期限付き	60日間	永久	永久
Enterprise Directoryの統合	なし	あり	あり	あり	なし	あり

機能	コミュニティライセンス	エクスプレスライセンス	プレミアムライセンス	評価ライセンス	ライセンスの監視	サーバーライセンス
レポート	あり	あり	あり	あり	なし	あり
HP OM、HP OMi、HP PM、およびHP BSMの統合	なし	あり	あり	あり	あり	あり
監視	なし	あり	あり	あり	あり	あり
HP CSAの統合	なし	なし	あり	あり	なし	あり
ビジネスグループ化	なし	なし	あり	あり	なし	あり
HP OneViewの統合	なし	なし	あり	あり	なし	あり
物理サーバーの監視	なし	なし	あり	あり	なし	あり
高度なトラブルシューティング用のゲストOSドリルダウン	なし	なし	あり	あり	なし	あり
現在の容量レポート (VMware™ vSphere、Microsoft™ HyperVおよびKVMのみ)	なし	なし	あり	あり	なし	あり
容量の最適化 (VMware™ vSphere、Microsoft™ HyperVおよびKVMのみ)	なし	なし	あり	あり	なし	あり
仮想マシンの配置 (VMware™ vSphere、Microsoft™ HyperVおよびKVMのみ)	なし	なし	あり	あり	なし	あり



機能	コミュニティライセンス	エクスプレスライセンス	プレミアムライセンス	評価ライセンス	ライセンスの監視	サーバーライセンス
容量の需要予測 (VMware™ vSphere、Microsoft™ HyperVおよびKVMのみ)	なし	なし	あり	あり	なし	あり
アラート (VMware™ vSphere、Microsoft™ HyperVおよびKVMのみ)	なし	あり	あり	あり	なし	あり
容量モデラー (VMware™ vSphere およびKVMのみ)	なし	なし	あり	あり	なし	あり
ダッシュボード	なし	なし	あり	あり	なし	あり

**注:** OSインスタンスの数は、VMとホストの数のみを示します。

評価ライセンスでは、製品のすべての機能を利用できます。評価ライセンスとプレミアムライセンスは、有効期間のみが異なります。

### 評価ライセンス

HP vPVをインストールした後のアクティブなライセンスは、デフォルトでコミュニティライセンスになります。評価モードのHP vPVの使用を開始するには、**[評価の開始]**をクリックします。ページが更新されて、評価ライセンスに関する情報が表示されます。

評価ライセンスが(60日経過後に)期限切れになると、ライセンスは自動的にコミュニティライセンスに変更されます。

評価版ライセンスをユーザーインターフェイスおよびコマンド行から有効にすることができます。

#### ユーザーインターフェイスの使用

評価版ライセンスをユーザーインターフェイスから有効にするには、次の手順を実行します。

1. **[設定]** ページの **[ライセンス]** オプションに移動します。
2. **[評価版ライセンス]** リンクをクリックします。

#### コマンド行の使用

評価版ライセンスをコマンド行から有効にするには、次の手順を実行します。

1. HP vPVマシンで、rootユーザーとしてログオンします。
2. 次のコマンドを実行して、評価版ライセンスをアクティブ化します。

```
pv starteval
```

**注:**データ収集は、すべてのデータソースからのインスタンスの合計が、ライセンスのインスタンス容量の上限以下である場合にのみ稼働します。合計インスタンス数がライセンスのインスタンス容量の上限を超える場合、すべてのデータソースに対するデータ収集が停止します。たとえば、100インスタンスのプレミアムライセンスがインストールされている場合に、2つのホストそれぞれに60インスタンスを接続しようとする、両方のホストの収集が失敗します。

### 監視専用ライセンス

HP vPVがHP Operations Manager/HP Operations Manager i (HPOM/OMi) と統合されているときに、HP vPVの監視機能のみを使用する場合は、監視専用ライセンスを有効化できます。監視専用ライセンスでは、HP vPVの [設定] オプションの限定された機能のみを使用できます。その他のHP vPV機能はすべて無効になります。

監視ライセンスは、ユーザーインターフェイスおよびコマンド行から有効化できます。

#### ユーザーインターフェイスの使用

ユーザーインターフェイスから監視ライセンスを有効化するには、次の手順を実行します。

1. [設定] ページの [ライセンス] オプションに移動します。
2. [監視専用ライセンスの開始] リンクをクリックします。

#### コマンド行の使用

コマンド行から監視ライセンスを有効化するには、次の手順を実行します。

1. HP vPVマシンにルートユーザーとしてログオンします。
2. 次のコマンドを実行して、監視専用ライセンスをアクティベートします。

```
pv startmonitoringonly
```

評価、プレミアム、エクスプレスライセンスは、既存の監視ライセンスをオーバーライドします。それぞれのライセンス資格期間の終了後、HP vPVでは監視ライセンス機能が復帰します。

同様に、HP vPVを評価モードで使用している場合に、監視ライセンスを有効化すると、すべての機能は評価期間の間のみ使用できます。評価ライセンスの有効期限が過ぎると、監視ライセンスがアクティブのままになります。

### サーバーライセンス

HP vPVサーバーライセンスを有効にしてHP OneViewで管理されるサーバーを監視できます。単一のサーバーライセンスインスタンスで、サーバーライセンスで対応されるサーバー上で実行しているすべてのOSインスタンスを監視することが可能です。サーバーライセンスは利用可能な機能に関してプレミアムライセンスとほぼ同じです。

**注:**有効なサーバーインスタンスライセンスの最大数は、HP OneViewで管理される最大サーバー数以下になります。

次の表に、各ライセンスのシナリオでのHP vPVの動作を要約します。

現在アクティブなライセンス	適用されたライセンス	動作
コミュニティ/評価版/エクスプレス	サーバーライセンス	サーバーライセンスは既存のライセンスをオーバーライドします。ライセンスされた合計のインスタンス数はサーバーライセンスで対応されたOSインスタンスと等しくなります。  <b>注:</b> サーバーライセンスで対応されないサーバー上で実行しているOSインスタンスがある場合、データ収集は停止します。データ収集を開始するために、十分な容量を備えた追加のライセンスをインストールできます。
プレミアム	サーバーライセンス	サーバーライセンスはプレミアムライセンスと共存できません。ライセンスされた合計のインスタンス数はプレミアムライセンスおよびサーバーライセンスで対応されたOSインスタンスと等しくなります。  <b>注:</b> サーバーライセンスで対応されたサーバー上で実行しているOSインスタンスは、現在のOSインスタンス数から引かれます。この結果、追加のOSインスタンス容量を得られます。
サーバーライセンス	プレミアム	サーバーライセンスはプレミアムライセンスと共存できません。ライセンスされた合計のインスタンス数はプレミアムライセンスおよびサーバーライセンスで対応されたOSインスタンスと等しくなります。
サーバーライセンス	コミュニティ/評価版/エクスプレス	サポートされません。

**注:**HP OneViewで管理されるサーバーの数はサーバーライセンス容量を超える場合、サーバーは関連付けられているインスタンスの数に基づいて選択されます。インスタンスの最大数を持つサーバーが、サーバーライセンスによる監視対象として自動的に選択されます。

## ライセンスのインポート

ライセンスを購入したら、HP vPVを使用して開始する前にインポートする必要があります。

HP vPVのライセンスをインポートするには、次の手順を実行します。

1. **[設定]** ページの **[ライセンス]** オプションに移動します。
2. **[ライセンス ステータス]** セクションで、**[ライセンスのインポート]** リンクをクリックします。  
**[ライセンスの管理]** ページが表示されます。
3. **[ライセンスの管理]** セクションの **[ライセンスキー]** フィールドにライセンスキーを入力します。
4. **[ライセンスのインポート]** をクリックします。**[インストール済みライセンス一覧]** セクションが更新され、インポートされたライセンスの詳細が表示されます。  
入力したライセンスキーをクリアするには、**[リセット]** をクリックします。

## 第5章: トラブルシューティング

本項では、HP vPVをトラブルシューティングする方法について説明します。

**ログファイルサイズの増加のため、Verticaデータベースの空き容量がほとんどなくなる。**

現象	ログファイルサイズの増加のため、Verticaデータベースの空き容量がほとんどなくなってしまいます。
原因	Verticaデータベースは、ログデータを日次で.gzファイルに統合、保管します。デフォルトでは、(「ローテーション」という)この処理は52週にわたり続きます。
解決策	<p>Verticaデータベースの容量を増やすには、次の2つのソリューションのいずれかを実施します。</p> <p><b>ソリューション1</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. <b>/opt/vertica/config/logrotate/</b>に移動します。</li><li>2. <b>pv</b>ファイルを開きます。</li><li>3. pvファイルの<b># and keep for 52 weeks</b>で、<b>rotate</b>の値を52からローテーションされたログファイルを保存する週数に変更します。</li></ol> <p><b>例:rotate 3</b></p> <p>この場合、Verticaデータベースは3週にわたり.gzファイルを保管します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>4. すべての<b># and keep for 52 weeks</b>インスタンスに対して、<b>手順3</b>を繰り返します。</li><li>5. ファイルを保存して閉じます。</li></ol> <p><b>ソリューション2</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. rootユーザーとしてログインします。</li><li>2. HP vPVサーバーで次のコマンドを実行します。</li></ol> <pre>cd /opt/vertica/bin ./admintools -t logrotate -d pv -r weekly -k &lt;number_of_weeks&gt;</pre> <p>ここで&lt;number_of_weeks&gt;は、ローテーションされたログを保管する週数です。</p>

### HP vPVにアクセスできない

現象	デフォルトのネットワークポート設定を使用してHP vPVにアクセスできません。
----	---

原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>• rootではないユーザーまたは非ローカルシステムアカウント権限で動作するように<b>ovTomcatB</b>が設定されているシステムに、HP vPVがインストールされています。</li> <li>• デフォルトのhttpポート (8081) またはhttpsポート (8444) が他のアプリケーションによって使用中の場合、それらのポートを使用してHP vPVにアクセスすることはできません。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>• rootではないユーザーまたは非ローカルシステムアカウント権限で動作するように<b>ovTomcatB</b>が設定されているかどうかを確認します。そのように設定されていた場合、管理者権限またはrootユーザー権限で<b>ovTomcatB</b>が動作するように設定を変更します。</li> <li>• 次のURLを使用してHP vPVにアクセスします。                  http://&lt;IPアドレス/システム名&gt;:&lt;ポート番号&gt;/PV                  &lt;IP アドレス/システム名&gt;がHP vPVサーバーのIPアドレスまたはシステム名で、&lt;ポート番号&gt;がHP vPVサーバーのポート番号の場合。                  HP vPVのホームページが表示されない場合、デフォルトポートが使用中かどうかを確認します。</li> <li>• ポート設定を変更するには、次の手順を実行します。                 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コマンドプロンプトで次のコマンドを実行して、HTTPポート、HTTPSポート、およびシャットダウンポートのポート番号を変更します。                      &lt;bin_dir&gt;ovconfchg -ns NONOV.TomcatB -set HTTPPort &lt;ポート番号&gt;                      &lt;bin_dir&gt;ovconfchg -ns NONOV.TomcatB -set HTTPSPort &lt;ポート番号&gt;                      &lt;bin_dir&gt;ovconfchg -ns NONOV.TomcatB -set ShutdownPort &lt;ポート番号&gt;</li> <li>2. HP vPVを再起動します。</li> </ol> </li> </ul>

#### HTTPSプロトコルを使用してHP vPVサーバーに接続することができない

現象	セキュリティ保護されたHTTPS通信プロトコルを使用してHP vPVからサーバーに接続することができません。
原因	HP vPVがセキュリティ保護されたクライアントから、デフォルトのタイムアウト間隔である1秒以内に接続できない場合、接続がタイムアウトします。
解決策	ご使用のインターネット接続またはインフラストラクチャ設定に応じて、パラメーター <b>SECURE_CLIENT_CONNECT_TIMEOUT</b> を使用して、HP vPVサーバーに接続する際のタイムアウト間隔を調整します。

#### HP vPVのデプロイが失敗する

現象	HP vPV Virtual Applianceのデプロイが失敗します。
----	--------------------------------------

原因	この現象は、ESXサーバーの時間が将来の時間に設定されていない場合に起こることがあります。
解決策	ESXサーバーの時間が正しく設定されていることを確認します。

#### HP vPVのホームページのコンテンツを表示できない

現象	HP vPVのホームページには見出し以外に何も表示されません。
原因	ブラウザで、JavaScriptが有効になっていないか、またはAdobe® Flash Playerがインストールされていません。最低限必要なバージョンは、Adobe® Flash Playerバージョン10.3です。
解決策	<p>Adobe® Flash Playerをインストールし、Internet Explorer (IE) またはMozilla Firefoxブラウザで、信頼済みサイトのリストにHP vPVを追加することによって、JavaScriptのサポートを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● HP vPVのWebサーバーのURLを信頼済みサイトに追加するには、次の手順を実行します。</li></ul> <p>IEブラウザの場合</p> <ol style="list-style-type: none"><li>a. [ツール] メニューの [<b>インターネット オプション</b>] をクリックします。[インターネット オプション] ポップアップウィンドウが表示されます。</li><li>b. [<b>セキュリティ</b>] タブをクリックします。</li><li>c. [<b>信頼済みサイト</b>] アイコンを選択します。</li><li>d. [<b>サイト</b>] をクリックします。[信頼済みサイト] ポップアップウィンドウが表示されます。</li><li>e. HP vPVのWebサーバーのURLを入力して [<b>追加</b>] をクリックします。入力したURLが信頼済みサイトのリストに表示されます。</li><li>f. [<b>閉じる</b>] をクリックします。</li><li>g. [<b>OK</b>] をクリックします。</li><li>h. ブラウザーを再起動します。</li></ol> <p>Mozilla Firefoxブラウザの場合</p> <ol style="list-style-type: none"><li>a. [<b>編集</b>] メニューの [<b>設定</b>] をクリックします。[オプション] ポップアップウィンドウが表示されます。</li><li>b. [<b>プライバシー</b>] タブをクリックします。</li><li>c. [<b>許可サイト</b>] をクリックします。</li><li>d. [サイトのアドレス] の下のボックスに、HP vPVのWebサーバーのURLを入力します。</li><li>e. [<b>許可</b>] をクリックします。</li></ol>

	<p>f. <b>[閉じる]</b> をクリックします。</p> <p>g. <b>[OK]</b> をクリックします。</p> <p>h. ブラウザーを再起動します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Adobe® Flash Playerがブラウザーにインストールされていない場合、HP vPVのホームページは表示されません。HP vPVのホームページを表示するにはAdobe Flash Playerをインストールする必要があることを伝えるメッセージがブラウザーに表示されます。このメッセージをクリックして、Adobe® Flash Playerをダウンロードします。</li> <li>• IEブラウザーの場合、HP vPVのホームページを信頼済みサイトに追加しても、JavaScriptが有効になっていなければ、このページを表示することはできません。ブラウザーでJavaScriptが有効になっていないこと、およびページを表示するにはJavaScriptを有効にする必要があることを伝えるメッセージがブラウザーに表示されます。</li> </ul> <p>JavaScriptのサポートを有効にするには、次の手順を実行します。</p> <p>IEブラウザーの場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>a. <b>[ツール]</b> メニューの <b>[インターネット オプション]</b> をクリックします。[インターネット オプション] ポップアップウィンドウが表示されます。</li> <li>b. <b>[セキュリティ]</b> タブをクリックします。ブラウザー設定のセキュリティレベルが <b>[高]</b> に設定されているかどうかを確認します。</li> <li>c. <b>[信頼済みサイト]</b> アイコンが選択されていることを確認し、<b>[レベルのカスタマイズ]</b> をクリックします。[セキュリティの設定] ポップアップウィンドウが表示されます。</li> <li>d. <b>[スクリプト]</b> セクションまでスクロールして、<b>[アクティブ スクリプト]</b> の <b>[有効にする]</b> オプションを選択します。</li> <li>e. <b>[OK]</b> をクリックします。</li> <li>f. <b>[適用]</b> をクリックします。</li> </ol> <p>Mozilla Firefoxブラウザーの場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>a. <b>[ツール]</b> メニューの <b>[オプション]</b> をクリックします。</li> <li>b. <b>[目次]</b> をクリックします。</li> <li>c. <b>[JavaScriptを有効にする]</b> チェックボックスを選択します。</li> <li>d. <b>[OK]</b> をクリックします。</li> </ol>

#### HTTPステータス404 - /PVエラー

<p>現象</p>	<p>HP vPVにアクセスすると、「HTTPステータス404 - /PVエラー」というメッセージが表示されます。</p>
-----------	---



原因	このメッセージは、<インストールディレクトリ>/www/webapps/PVディレクトリが空の場合に表示されます。
解決策	もう一度、<インストールディレクトリ>/newconfig/PVからPerf.warファイルを<インストールディレクトリ>/www/webapps/PVに抽出します。コマンドpv deploywar.を実行します。

### HP vPVで使用可能なログファイルは何ですか?

次の表にHP vPVで使用できるログファイルを示します。

コンポーネント	説明	場所
pvcd (PV収集デモン)	pvcdデーモンはXPLトレースメカニズムを使用します。デフォルトのpvcdXPL.itc (トレース設定) は、/opt/OV/supportディレクトリにあります。  トレースを開始するには、 /opt/OV/support/ovtrccfg -app pvcd -cf /opt/OV/newconfig/conf/xpl/trc/pvcdXPL.itcを実行します。XPLトレースファイルは/tmp/pvcd_*.trcにあります。  トレースを停止するには、 /opt/OV/support/ovtrccfg -app pvcd -offを実行します。	トレースが有効になっている場合、/tmp/ directoryにトレースファイルが格納されます ( - ls /tmp/pvcd_*.trcを使用)
	System.txtのpvcdおよびpvconfigツールログの重要ステータスおよびエラーメッセージ (存在する場合)。	/var/opt/OV/log/System.txt
コレクター	vCenterおよびOpenStackコレクターステータスログファイル/var/opt/OV/log/status.virtserver	/var/opt/OV/log/status.virtserver
	KVMコレクターステータスログファイル	/var/opt/OV/log/status.kvm
	XENコレクターステータスログファイル	/var/opt/OV/log/tmp/status.xen
データベーストランザクション	データベーストランザクションを表示するためのVerticaカタログファイル	/var/opt/OV/databases/pv/catalog/pv/v_pv_node0001_catalog/vertica.log
ユーザーイン	ローカルトレースおよびログメッセージ	/var/opt/OV/log

コンポーネント	説明	場所
ターフェイス	はovpmtrace.0.txtおよびovpm.0.logに記録されます	

## 第6章: HP vPVコミュニティ

HP vPV関連の情報を次のHP vPVコミュニティから取得できます。

### HP vPVのブログ

HP vPVの詳細とユースケースの情報を[HP vPVブログ](#)で入手できます。

### HP vPVのビデオ

HP vPVのデモンストレーションビデオおよびチュートリアルを[HP vPVビデオ](#)で表示できます。

### HP vPVコミュニティフォーラム

HP vPVコミュニティフォーラムにアクセスして必要なサポートを得たり、質問をしたりすることができます。[vPVフォーラム](#)では、HP vPVに関するあらゆるクエリを扱っています。

# ドキュメントに関するフィード バックの送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールで[ドキュメント制作チームまでご連絡](#)ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

**Feedback on 仮想アプライアンスのスタートアップガイド (PDF) (Virtualization Performance Viewer 2.20)**

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信] をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、[docfeedback@hp.com](mailto:docfeedback@hp.com)宛にお送りください。

お客様のフィードバックをお待ちしております。